

平成20年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
14	分子薬理学	No. 1 2枚		

問1 統合失調症及び統合失調症治療薬に関する次の記述の空欄を、最も適切な語句で埋めなさい。なお、空欄を埋める語句として、英語や一般的になっている略語を用いても差し支えない。受容体名は、明らかにされている最も詳細なサブタイプで答えること。答は解答欄に記入すること。(10点)

統合失調症は、代表的な内因性の 1) 疾患である。統合失調症を発症すると、思考や知覚、感情・意欲、 2) 等に異常が認められるようになり、社会的・職業的機能が低下する。急性期には妄想や幻覚等の 3) 症状が強く現れることが多いが、慢性期になると引きこもりや意欲の欠如等の 4) 症状が目立つようになる。

病因は明らかではないが、脳内 5) 受容体系の機能亢進が主な原因と考えられている。以前は 6) 系のハロペリドールや 7) 系のクロルプロマジン等が主として用いられて来たが、近年、 8) とよばれるリスペリドンや 9) とよばれるオランザピン等の新型の治療薬が登場し、薬物療法の主役が交替しつつある。これら非定型抗精神病薬の場合、従来の定型抗精神病薬で問題となっていた 10) 症状や過度の鎮静等の副作用が生じにくいため、コンプライアンスと QOL の向上が期待できる。

【解 答 欄】

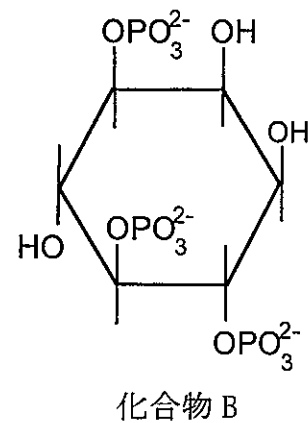
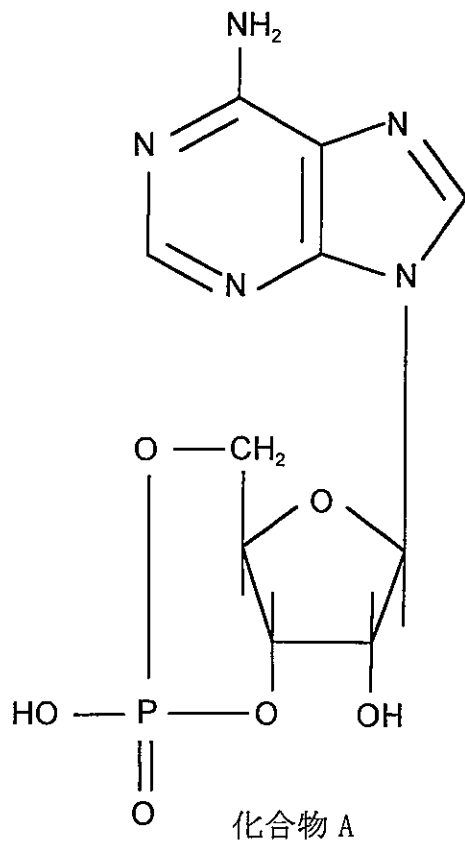
1)	2)	3)
4)	5)	6)
7)	8)	9)
10)		

採点		[]
----	--	-----

平成20年度 薬学研究科修士課程選抜入学試験問題

科目番号	科目名	問題枚数	受験番号	氏名
14	分子薬理学	No. 2 2枚		

問2 次の化合物A及び化合物Bは、何れも細胞内二次情報伝達物質（セカンド・メッセンジャー）である。（1）それら化合物の名称、（2）それら化合物の産生促進と関連する受容体を二種類、（3）それら化合物が仲介する生理的反応を二種類、解答欄に記入しなさい。（20点）



【解 答 欄】

	(1) 名称	(2) 受容体	(3) 生理的反応
化合物 A			
化合物 B			

採点	
----	--

[]